

A STUDY ON IMPACT RESISTANT CAPACITY OF CONCRETE FILLED STEEL TUBULAR MEMBERS AGAINST TSUNAMI FLOTSAM COLLISION

コリ エフェンディ, マハムド

<https://doi.org/10.15017/1543920>

出版情報：九州大学, 2015, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

| | | | | |
|--------|---|------|-----|-------|
| 氏 名 | マハムドコリエフェンディ | | | |
| 論 文 名 | A STUDY ON IMPACT RESISTANT CAPACITY OF CONCRETE FILLED STEEL TUBULAR MEMBERS AGAINST TSUNAMI FLOTSAM COLLISION (津波漂流物の衝突に対するコンクリート充填鋼管部材の耐衝撃性能に関する研究) | | | |
| 論文調査委員 | 主 査 | 九州大学 | 教授 | 河野昭彦 |
| | 副 査 | 九州大学 | 教授 | 蜷川利彦 |
| | 副 査 | 九州大学 | 准教授 | 松尾真太郎 |
| | 副 査 | 九州大学 | 教授 | 神野達夫 |

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、津波漂流物を対象として CFT 部材に対する一連の衝撃実験、FEM による静的解析、骨組解析による衝撃解析を行い、CFT 部材の耐衝撃性能は部材のエネルギー吸収能力が指標となること、これと衝撃荷重の入力エネルギーとの比較から安全性を検証できること、また、大きな鉛直荷重を受ける CFT 柱は構造不安定によって耐衝撃性能が支配されること、並びにその場合の衝撃荷重の入力エネルギーの上限の算定式を明らかにし、近年頻発する津波に対する建築物の構造安全性を飛躍的に高めるもので、建築構造学に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。